

平成9～20年度生まれの女性へ

子宮頸がん（HPV）ワクチン
キャッチアップ接種期間延長
のお知らせ

公費による HPV ワクチン「キャッチアップ接種」の期間が 延長されます。

延長期間は**2025年4月から2026年3月まで**です

対象者

- ①平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれの女性
（キャッチアップ接種対象者）
- ②平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの女性
（定期予防接種最終年の方）

延長期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

延長要件

令和4年4月1日から令和7年3月31日の間に1回以上子宮頸がん（HPV）ワクチンの接種を受けており、3回の接種が完了していない方

子宮頸がんは、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。
毎年1万人以上の女性が子宮頸がんにかかり、
毎年3,000人以上の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。

子宮頸がん予防のための HPV ワクチンの接種を逃した方に、
公費による接種の機会（キャッチアップ接種）の期間が延長されます。

接種は合計3回で、完了するまでに約6か月かかります。

接種を希望する方は**2025年3月まで**に接種を検討してください。

HPVワクチンの「キャッチアップ接種」についてもっと詳しく知りたい方はこちら

厚生労働省ホームページ

厚労省 キャッチアップ 検索



HPVワクチンに関する
よくあるQ&Aはこちら



20歳になったら
子宮頸がん検診も忘れずに！



子宮頸がん(HPV)ワクチンとは

子宮頸がん(HPV)ワクチンは、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。子宮頸がん(HPV)ワクチンには、「サーバリックス(2価)」「ガーダシル(4価)」「シルガード(9価)」の3種類のワクチンがあります。

子宮頸がん(HPV)ワクチンの効果

サーバリックス及びガーダシルは、子宮頸がんをおこしやすい種類(型)のウイルスの感染を防ぐことができ、子宮頸がんの原因の50～70%にあたるウイルスの感染を予防します。シルガードは、それに加え他の種類(型)のウイルスの感染も防ぐため、子宮頸がんの80～90%を防ぎます。

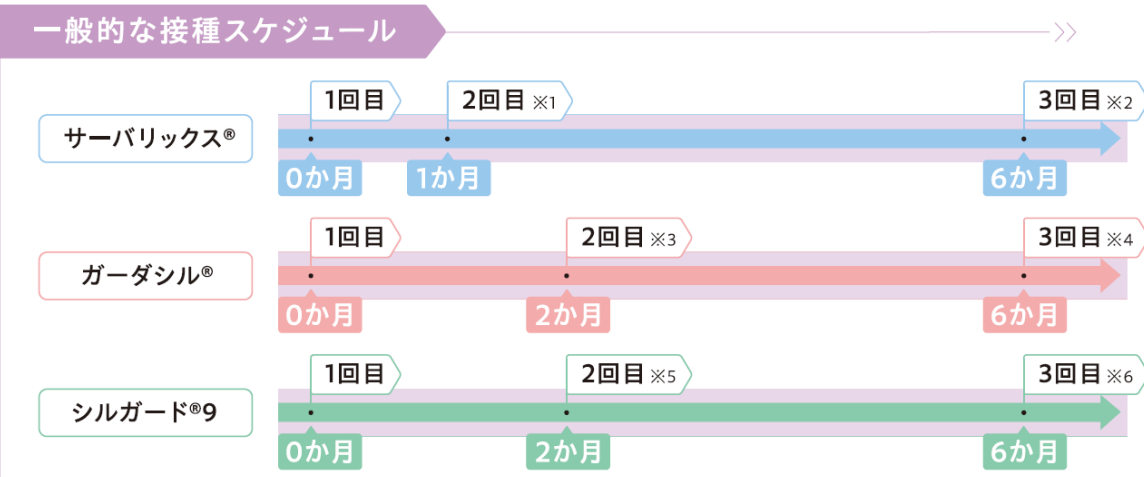
接種後の副反応

子宮頸がん(HPV)ワクチン接種後には、接種部位の痛み(80%以上)や腫れ(40%～70%)、赤み(30%～80%)などが起こることがあります。接種後に体調の変化や気になる症状が現れたら、まずはワクチンを受けた医療機関などの医師にご相談ください。

接種するワクチンの種類とスケジュール

公費(無料)で接種できる子宮頸がん(HPV)ワクチンは、3種類あります。決められた間隔をあけて、同じワクチンを合計3回接種します。

※1回目、2回目の接種の後に気になる症状が現れた場合は、途中で接種をやめることができます。



※いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましいとされています。
※上記のスケジュールで接種を受けることが難しい場合は、医師へご相談ください。

予防接種健康被害救済制度について

極めてまれですが、予防接種を受けた方に重い健康被害を生じる場合があります。子宮頸がん(HPV)ワクチンに限らず、日本で承認されているすべてのワクチンについて、ワクチン接種によって、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害が残るなどの健康被害が生じた場合は、申請し認定されると、法律に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)が受けられます。

お問い合わせ・接種実施医療機関

互理町 健康推進課 保健総務班
TEL 0223-34-0524

山元町 保健福祉課 健康推進班
TEL 0223-37-1113

実施医療機関			
板橋胃腸科肛門科	34-8911	大友医院	34-3204
三浦クリニック	33-1811	三上医院	34-3711
菊地内科医院	37-3300		